

一般質問通告書

通告順番 5 番

通告者 大塚 勝二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 シニアカーが安全に通行出来るための歩道の整備・点検について	シニアカー（電動車椅子）は、高齢者の免許返納後や長距離の歩行困難等での高齢者の移動手段として普及してきている。しかし、警察庁の報告によれば、平成 27 年の統計ではあるが年間 180 件前後発生している。また、手動車椅子も含めると約 270 件前後である。 電動車椅子においては、道路横断中の死亡事故が約 70% であるが、対面・背面通行（道路通行時）時の死亡事故も約 30% 程度発生している。また、手動車椅子の事故では、転倒・投げ出され事故が発生している。高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下「バリアフリー法」という。）は、公共交通機関の施設及び車両等、道路、路外駐車場、公園施設並びに建築物の構造及び設備を改善、整備等することにより、高齢者、障害者等の移動、施設の利用における利便性及び安全性の向上を目的としている。 以上より、シニアカーや車椅子・歩行者が安心・安全に歩行できる歩道の整備が急務である。前回、坂本議員の一般質問でのシニアカーが安全に通行出来るための歩道の整備・点検について問う。	町 長
2 体育館・グラウンド・テニスコート等の整備・点検について	大津町は、『スポーツのまち大津』をスローガンにしている町なので魅力ある施設の整備も必要である。町内外から使用する体育館・グラウンド・テニスコート等の使用する町内外の人に安心・安全に使用してもらうことが重要と考えている。そのためには、施設の経年劣化に対する点検・整備計画が必要である。先日、総合体育館での天井からの天井板の落下事案・町民グラウンドのグラウンド内の石ころの混入による運営障害等の事案を聞いている。また、体育館などは、災害時の避難所に指定されている。 内閣府の報告によれば、避難所の施設によっては、和式便器のトイレが多く、また仮設トイレにも和式便器が多いことにより、足腰の弱い高齢者や車いす使用の身体障害者にとっては、トイレの使用が極度に困難となる。また、おむつ等の確保も課題となり、脆弱性の高い人たちにとっては、衛生環境の悪化は生命に関わる問題となりうる¹⁾。という報告があるように避難時にも子どもから高齢者・ハンディーを抱えた人でも安心して使えるトイレ整備が早急に必要である。日本トレンドリサーチの家庭で	町 長

一般質問通告書

通告順番 5 番

通告者 大塚 勝二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3 大津町内の道路の白線消え および道路の補修整備対 策について	の和式トイレの普及率は、1. 9 %である。また、スポーツの森の施設においては、体育館以外で球技場・競技場等町内外から利用される方が多いが、そのトイレも和式が多く、町民からは不便であるという声も聞いている。今後の施設の点検・整備計画について問う。 大津町内で道路の白線消えで右折帯がわからない箇所があった。また、道路では亀裂や陥没等において区長からも町へ要望していると聞いている。町民が安心して通行できる道路・歩道の整備が必要である。交通事故被害者のための相談サイトによれば、事故が起きた時には、被害者・加害者共に過失があり怪我はなくとも精神的な影響を受けることになる。と報告があるT S M C関係で県外・国外等からの町内への居住に伴い外国人や町外出身者の車両が多くなっている。町民はもとより町外から来た人が安心・安全に通行できる環境整備が必要である。道路の整備には、町道・県道・国道と複雑であり問題の箇所を把握するのは必要不可欠であるが、町民から要望があつて単発的にその都度対応するのではなく定期的にチェックして関係各所（町・県・国）に一括して申請し計画を立てることが大切だと考える。今後の問題箇所の把握・今後の整備計画を問う。	町 長